

# 平成30年度東京ヘリポート消火救難訓練

7月27日（金）に、東京港管理事務所及び東京消防庁城東消防署主催で、「東京ヘリポート消火・救難訓練」を実施しましたので、報告いたします。

## 東京ヘリポート消火救難訓練

実施日時 平成30年7月27日（金）  
13時30分～16時00分

場 所 東京ヘリポートエプロン  
（コンパス修正場及び周辺スポット）

主 催 東京港管理事務所、東京消防庁城東消防署

参加機関 24機関（東京ヘリポート安全連絡協議会）

参加人員 72名（見学者〔9名〕含む。）

消防車両 3台（東京ヘリポート消防隊、東京消防庁城東消防署、東京消防庁航空隊）

訓練概要 ヘリポート内コンパス修正場にて離陸前点検実施中の機体が突然浮揚し、横転。搭乗者3名が負傷。負傷者の救出後、機体が出火したとの想定のもと訓練を実施しました。

第1部ではヘリポート内で通信訓練を行い緊急連絡体制の確認を行いました。また第2部では東京消防庁をはじめ航空会社等24機関72名が参加する実地訓練を実施し、連携して負傷者救出や消火手順の確認をしました。

訓練終了後は城東消防署砂町出張所 茂木所長と東京港管理事務所 大野所長より講評をいただきました。



\* 緊急連絡体制に基づく通信訓練



\* 負傷者の救出



\* 負傷者の搬送



\* 東京ヘリポート消防隊、城東消防署、消防庁航空隊による放水



\* 訓練後の講評

茂木所長より「参加されている皆さんがヘルメット等着用されて、訓練に臨もうとされる姿勢は大変良いと思っています。日ごろから防災意識を持つことが大切です」とご講評をいただきました。

また大野所長からは「航空機燃料による火災は大きな被害が予想されるため、普段からの備えに加えて事故発生時のノウハウを高めていただくことが

大切だと思います」と訓練全体の講評をいただきました。

最後に、訓練に参加された皆様、機体を提供して下さったアカギヘリコプター株式会社様に感謝申し上げます。

(東京港管理事務所港務課)